



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月30日

上場会社名 フォスター電機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6794 URL <https://www.foster.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉澤 博三
 問合せ先責任者 (役職名) IR・法務部長 (氏名) 山本 有三 TEL 042-546-2305
 四半期報告書提出予定日 2018年11月12日 配当支払開始予定日 2018年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有（アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	68,758	△14.4	1,938	△51.7	2,198	△44.7	△1,776	—
2018年3月期第2四半期	80,286	17.5	4,015	—	3,973	—	2,559	—

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 △723百万円（-％） 2018年3月期第2四半期 3,284百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	△69.21	—
2018年3月期第2四半期	99.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	97,346	63,714	60.7	2,373.52
2018年3月期	100,870	66,792	61.5	2,412.06

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 59,131百万円 2018年3月期 62,061百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	20.00	—	35.00	55.00
2019年3月期	—	10.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	△24.2	3,000	△67.8	2,500	△72.4	△2,500	—	△97.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	26,931,051株	2018年3月期	26,931,051株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	2,018,192株	2018年3月期	1,201,449株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	25,662,296株	2018年3月期2Q	25,729,744株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年9月30日)における世界経済は、米中貿易摩擦等の懸念材料を含みつつも、総じて好調に推移しました。

当社グループが属する電子部品業界においては、車載向け部品の需要が好調に推移し、IoTやAI等で電子部品の活用ニーズも高まりました。一方、スマートフォン用部品の需要は、成長が鈍化してきました。

当社グループにおいては、主要顧客向けヘッドセットの販売数量及び価格が低下し、非常に厳しい事業環境となってきました。これに対して、当社グループは、人員や設備の見直しを中心に最適な生産体制の再構築に取り組みました。また、車載向け製品事業を今後の事業の主軸とすべく取り組みを強化しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は68,758百万円(前年同期比14.4%減)、営業利益は1,938百万円(前年同期比51.7%減)、経常利益は2,198百万円(前年同期比44.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,776百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益2,559百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

[スピーカ事業]

車載用スピーカ・スピーカシステムは、一部顧客のプレミアムブランド向け製品の販売数量が減少した結果、売上高が34,450百万円(前年同期比6.8%減)、営業利益が2,050百万円(前年同期比20.5%減)となりました。

[モバイルオーディオ事業]

主力顧客向けヘッドセットの販売数量及び価格が低下したことから、売上高が31,407百万円(前年同期比22.3%減)、営業損失が254百万円(前年同期は営業利益1,212百万円)となりました。

[その他事業]

小型音響部品事業や「フォステクス」ブランドの製品を含むその他の売上高は、2,990百万円(前年同期比3.1%増)、営業利益は143百万円(前年同期比35.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、主に有形固定資産の減少により前連結会計年度末に比べ3,524百万円減少して97,346百万円となりました。負債は、主に支払手形及び買掛金の減少により前連結会計年度末に比べ446百万円減少して33,631百万円となりました。純資産は、主に利益剰余金の減少により前連結会計年度末に比べ3,078百万円減少して63,714百万円となりました。また自己資本比率は、前連結会計年度末比0.8ポイント減の60.7%になりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、以下に記載のキャッシュ・フローにより12,962百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,812百万円増加しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、売上債権の減少等により3,617百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、設備投資等により2,154百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、借入金の増加等により1,158百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,704	13,108
受取手形及び売掛金	21,744	19,053
電子記録債権	499	271
有価証券	2,310	1,893
製品	26,582	29,193
原材料	7,972	5,725
仕掛品	2,075	1,379
貯蔵品	425	276
短期貸付金	0	0
未収入金	841	684
その他	1,473	1,453
貸倒引当金	△15	△27
流動資産合計	73,614	73,013
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,717	9,455
機械装置及び運搬具(純額)	6,515	5,366
工具、器具及び備品(純額)	3,056	2,020
土地	1,151	1,147
建設仮勘定	679	932
有形固定資産合計	21,120	18,922
無形固定資産		
ソフトウェア	307	239
借地権	816	786
その他	176	156
無形固定資産合計	1,300	1,182
投資その他の資産		
投資有価証券	2,743	2,583
長期貸付金	30	26
長期前払費用	543	193
退職給付に係る資産	778	768
繰延税金資産	439	345
その他	309	317
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	4,835	4,227
固定資産合計	27,255	24,332
資産合計	100,870	97,346

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,053	9,535
電子記録債務	60	—
短期借入金	3,353	3,839
1年内返済予定の長期借入金	1,250	3,113
未払金	4,316	3,036
未払法人税等	627	681
未払費用	1,946	1,924
賞与引当金	693	901
その他	651	1,306
流動負債合計	25,953	24,338
固定負債		
長期借入金	7,098	8,243
繰延税金負債	422	356
退職給付に係る負債	140	201
役員退職慰労引当金	8	10
株式給付引当金	46	68
資産除去債務	240	242
その他	169	169
固定負債合計	8,124	9,293
負債合計	34,077	33,631
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,770	6,770
資本剰余金	9,394	9,394
利益剰余金	48,068	45,313
自己株式	△2,156	△3,323
株主資本合計	62,077	58,155
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	776	744
為替換算調整勘定	△410	596
退職給付に係る調整累計額	△382	△365
その他の包括利益累計額合計	△15	975
非支配株主持分	4,731	4,583
純資産合計	66,792	63,714
負債純資産合計	100,870	97,346

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	80,286	68,758
売上原価	69,143	59,998
売上総利益	11,143	8,760
販売費及び一般管理費	7,127	6,821
営業利益	4,015	1,938
営業外収益		
受取利息	45	64
受取配当金	16	20
為替差益	95	255
雑収入	233	180
営業外収益合計	391	520
営業外費用		
支払利息	98	102
雑損失	335	158
営業外費用合計	433	260
経常利益	3,973	2,198
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
減損損失	165	2,088
特別退職金	—	969
特別損失合計	165	3,057
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	3,807	△859
法人税、住民税及び事業税	1,006	597
法人税等調整額	52	55
法人税等合計	1,059	652
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,748	△1,511
非支配株主に帰属する四半期純利益	189	264
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	2,559	△1,776

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,748	△1,511
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	133	△32
為替換算調整勘定	395	801
退職給付に係る調整額	7	19
その他の包括利益合計	535	788
四半期包括利益	3,284	△723
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,168	△785
非支配株主に係る四半期包括利益	115	62

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,807	△859
減価償却費	4,102	2,631
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△10	7
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	87	55
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△44	2
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△26	10
賞与引当金の増減額 (△は減少)	490	191
減損損失	165	2,088
特別退職金	—	969
受取利息及び受取配当金	△61	△85
支払利息	98	102
為替差損益 (△は益)	7	104
売上債権の増減額 (△は増加)	△703	2,822
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,484	1,114
仕入債務の増減額 (△は減少)	451	△3,908
未収入金の増減額 (△は増加)	197	130
未払金の増減額 (△は減少)	229	△574
その他	547	352
小計	△146	5,158
利息及び配当金の受取額	61	85
利息の支払額	△98	△102
特別退職金の支払額	—	△969
法人税等の支払額	△1,175	△717
法人税等の還付額	—	162
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,359	3,617
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△295	△1,526
有価証券の償還による収入	—	1,341
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△3,175	△1,714
無形固定資産の取得による支出	△91	△71
定期預金の増減額 (△は増加)	—	△186
短期貸付金の増減額 (△は増加)	1	0
長期貸付けによる支出	△1	△0
長期貸付金の回収による収入	5	4
長期前払費用の取得による支出	△109	△8
その他	△0	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,665	△2,154
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,781	468
長期借入れによる収入	367	3,665
長期借入金の返済による支出	△694	△754
配当金の支払額	△643	△904
非支配株主への配当金の支払額	△150	△149
自己株式の取得による支出	△0	△1,167
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,660	1,158
現金及び現金同等物に係る換算差額	△280	190
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,645	2,812
現金及び現金同等物の期首残高	12,037	10,150
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,392	12,962

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しています。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

なお、本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	スピーカ事業	モバイルオー ディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	36,946	40,440	2,900	80,286	—	80,286
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	36,946	40,440	2,900	80,286	—	80,286
セグメント利益	2,579	1,212	223	4,015	—	4,015

(注)1 セグメントの調整額はありません。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「モバイルオーディオ事業」セグメントにおいて、遊休資産に係る固定資産の減損損失を165百万円計上していません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	スピーカ事業	モバイルオー ディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	34,450	31,407	2,900	68,758	—	68,758
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	89	89	△89	—
計	34,450	31,407	2,990	68,848	△89	68,758
セグメント利益	2,050	△254	143	1,938	0	1,938

(注)1 セグメントの調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「モバイルオーディオ事業」セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を2,088百万円計上していません。